

令和4年度 連携研究スキームによる研究（政策研連携研究課題）
研究成果等最終報告書

I 最終報告書簡易版

1. 研究課題総括表

研究テーマ名	ポスト新型コロナウイルス時代における食料安全保障のあり方に関する研究のうち「食料の安定的な確保のための国際市場に関する研究」
政策研連携研究課題名	「安定的な穀物等の調達に向けた企業行動と国際需給に関する研究」
研究実施期間（西暦）	2020年度～2022年度（3年間）
PO	主任研究官 林 瑞穂

2. 研究の目的・達成目標

南米地域における日系穀物商社等の穀物等の調達・事業戦略を把握するとともに、我が国の穀物を輸入している実需企業の安定的な原料調達に向けた企業動向調査を実施する。その分析に基づき、安定調達に必要な方策を解明するための含意を得る。

3. 研究課題を構成する研究項目及び年次計画

研究項目	2020年度	2021年度	2022年度
①穀物調達戦略および投資戦略に関する分析	文献・統計データ分析, 予備調査など	本調査及びデータ分析など	補足調査・原稿作成
②日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略の分析	文献・統計データ分析, 予備調査など	本調査及びデータ分析など	補足調査・原稿作成
③世界の食料需給見通しや食料需給動向の分析への活用	文献・統計データ分析, 予備調査など	本調査及びデータ分析など	補足調査・原稿作成

4. 研究分担者一覧

研究項目	研究者氏名	役職・領域名
①穀物調達戦略および投資戦略に関する分析	◎林 瑞穂	主任研究官・国際領域
②日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略の分析	◎林 瑞穂 ○八木浩平	主任研究官・国際領域 神戸大学准教授 客員研究員
③世界の食料需給見通しや食料需給動向の分析への活用	◎古橋 元 ○林 瑞穂	世界食料需給分析チーム長 主任研究官・国際領域

（注）POには◎、研究項目主担当者には○を付すこと。

5. 研究結果等

①穀物調達戦略および投資戦略に関する分析

(1) 研究目的

わが国の主要配合飼料原料調達先であるブラジルを始めとする南米南部の穀物産業の実態把握に資する調査・分析を実施する。

(2) 研究成果

日系総合商社・JA 全農のブラジル大豆産業における調達に係る投資戦略を分析するほか、2010 年代のブラジル大豆産業で生じた大豆生産者と大豆集荷業者の関係性の変化について考察した。その結果、これまで先行研究では穀物メジャーなどの多国籍穀物商社が優位と考えられていたブラジル大豆産業において、大豆生産者の交渉力の向上が近年生じており、大豆集荷業者の営業ツールとして大豆生産者に対する大豆生産に必要な金融サービスを実施することが重要であることを明らかにした。

(3) 政策への含意等

日系集荷業者にとって、上述の金融サービスに伴う大豆生産者へのクレジットリスクを如何にコントロールするかが重要であり、そのリスク軽減に資する政策的支援の検討が重要なものと思料する。

(4) 今後の課題

ブラジル以外の南米南部諸国に関する実態把握や、当該諸国における穀物生産に係る国家の役割等に関する考察が重要と考える。

②日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略の分析

(1) 研究目的

穀物需要者である日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略の分析に取り組む。

(2) 研究成果

日系食用油メーカーの事業戦略や穀物輸入戦略に関して、メーカーや業界誌出版社、業界団体への企業調査をもとに分析を行った。その結果、自由貿易化の進展による食用油輸入拡大の可能性は低く、引き続き油糧種子輸入が求められる一方、カナダ国内での菜種搾油能力の向上により、輸出用菜種が減少することで菜種調達が困難となる可能性がある点を確認した。こうした中でメーカーが、搾油工程の企業間での協力や事業多角化、海外展開、付加価値油の拡販で収益性の確保を図る点や、輸入食用油に対応した設備投資を行う企業がある点も確認した。

(3) 政策への含意等

食用油メーカーは自助努力で収益性の確保に努めるものの、油糧種子の確保が日本の食用油供給の課題の一つとなりつつあり、その点に関する行政による支援の検討が求められ得る。

(4) 今後の課題

菜種の代替品の整理や、油糧種子調達に必要な支援の検討など、油糧種子輸入に焦点を当てた企業調査による実態把握が、今後一層求められる。

③世界の食料需給見通しや食料需給動向の分析への活用

①及び②で得た定性的な知見について、主要国プロの食料需給分析

チーム内で共有するほか、世界の食料需給見通しや食料需給動向の分析に活用した。また、適宜、これらの情報について農林水産省と情報共有会を通じて、共有と意見交換を実施した。

- (注1) 5. 研究結果等は、全研究期間をとおしての研究全体の進捗状況を5行程度で簡潔に記載し、研究項目ごとの研究結果等を簡潔に記載すること。
- (注2) 学会発表、論文発表等成果の公表状況(リスト)を添付すること。
- (注3) 研究成果概要図を添付すること。
- (注4) 農林水産政策研究所のホームページにて公表するため、未公表データや知的財産等に関する事項については、十分に注意して作成すること。また、公表できる内容のみを記載すること。